

交通死亡事故ゼロ 2,500 日間達成 交通死亡事故ゼロ 2,500 日間達成に伴う 宮城県知事及び宮城県警察本部長褒状伝達式

令和 2 年 12 月 29 日に町内での交通死亡事故ゼロの期間が 2,500 日間となり、1 月 6 日に宮城県知事及び宮城県警察本部長より褒状が伝達されました。

大河原町は、仙南地域の交通の要であり、国道 4 号を有する交通環境の厳しい町です。そのなかでの交通死亡事故ゼロ 2,500 日間達成は、数字以上に価値があり、町民の皆さまや各関係機関の交通安全に対する意識の高さと、日頃からの取り組みの成果といえます。

これからも、交通死亡事故ゼロの町を継続できるように、交通ルールを守り、安全運転を心掛けていきましょう。



ウインターカップ出場おめでとう

聖和学園高等学校 3 年 大槻 優歩さん

1 月 19 日、聖和学園高等学校女子バスケットボール部の大槻優歩さん（大河原中学校出身）が昨年 12 月に行われたウインターカップの結果報告に本庁を訪れました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で調整が難しいなか、家の周辺でのランニングやチームメイトとのリモートトレーニングなどを積極的に実施し、宮城県代表として力を発揮しました。

「小学校 1 年生からバスケットボールを始め、ここまです成長することができました。携わっていただいた皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。卒業後は、県外の学校に進学しバスケットボールを続けながら、夢である管理栄養士や体育教師になるために文武両道で頑張りたいです。」と話していました。



▲町長へウインターカップの結果報告に来庁した大槻優歩さん（左）

町内企業の広告を募集します

1. 「広報おがわら」概要

規 格 A4 版 平均 14 ページ 年間 12 回
1 回 約 10,100 部発行

2. 募集内容

募集対象 町内に住所を置く事業所および団体
掲載料金 月額 10,000 円
サイズ：(45mm × 88mm)
募集号 令和 3 年度発行（5 月号～令和 4 年 4 月号）
の 12 号分
掲載枠数 1 号当たり 12 枠まで※原則として 1 広告主
につき 1 号当たり 1 枠まで
掲載原稿 版下として印刷できる状態の電子データに限ります。
申込期限 3 月 12 日（金）※申込多数の場合、抽選となります。
また、年間通して掲載されるかを優先させていた
できます。

3. 申込方法

申込用紙（町ホームページからダウンロードまたは役場総務課に備え付けの用紙）に広告案を添付して、総務課へ申し込んでください。

※詳しくは総務課秘書広報係 2 階④番窓口（☎ 53-2111）までお問い合わせください。

令和 2 年分

国税庁

確定申告

ご来場を検討されている方へ

～感染リスク軽減のための税務署からのお願い～

密を避ける

- ☑ 自宅からスマートフォン・パソコンで e-Tax
- ☑ 作成手順は国税庁の動画サイトでチェック！



確定申告特集ページ

密を作らない

- ☑ 確定申告会場の混雑緩和のため会場への入場には「入場整理券」が必要です
- ☑ 整理券は各会場当日配付。LINE から事前発行もしています



国税庁 LINE 公式アカウント

申告と納税 所得税および復興特別所得税・贈与税 令和 3 年 3 月 15 日（月）まで
消費税および地方消費税（個人事業者） 令和 3 年 3 月 31 日（水）まで

詳しくは

確定申告

検索

申告義務のない方が行う還付申告は 5 年間提出することができます。
年末調整済みの給与所得のみの方で、医療費控除や寄付金控除（ふるさと納税）により還付を受ける方などがこちらに該当します。

春が待ちどおしい！

ポケモンマンホール「ポケふた」が設置されます

観光振興を後押しする「みやぎ応援ポケモン」を務めるラプラスが描かれたマンホール「ポケふた」が大河原町にも設置されることになりました！

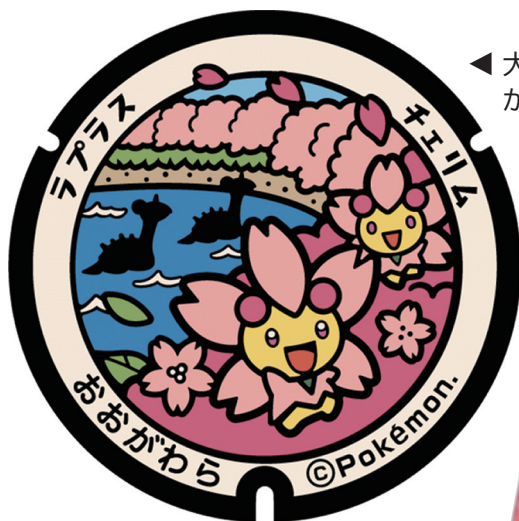
設置される「ポケふた」は、サクラポケモンのチェリムと川を泳ぐラプラスが描かれた世界一つだけのデザインです。

この「ポケふた」は白石川河川敷（尾形橋付近）に3月に設置される予定です。（設置時期については前後する場合があります）

各市町村の図柄や設置場所など詳しくは、

ラプラス 宮城  で検索してください。

(<https://laplace-miyagi.jp/>)



◀ 大河原らしい、かわいいデザインです！



各市町村のマンホールデザインが掲載されている『ラプラス + 宮城巡り宮城図鑑（秋・冬）』パンフレットは役場町民ホールなどで配布しています。

私たちにできることは

金ヶ瀬中学校 全校道徳

1月15日、19日の2日間、金ヶ瀬中学校では、「いまキミにできること～差別・偏見をなくすために～」という内容でクラスごとに道徳の授業を行いました。

新型コロナウイルス感染症は、「病気」「不安」「差別」の3つの感染症が負の連鎖としてつながることで、更なる感染拡大につながります。3つの感染症の連鎖を止めるために、私たちに何ができるのか、個人やグループで考え発表しました。

授業の最後に、福岡県古賀市立花鶴小学校の先生が実話を基に作成した、「温かい手」という教材を読んで、新型コロナウイルス感染症患者やその家族への差別・偏見をなくすこと、最前線で治療にあたる医療関係者などへの感謝の気持ちを持つことなど、1人1人が感じたことをまとめていました。



STOP! コロナ差別

～県民の皆さんへのお願い～



思いやり

地域や職場、学校などにおいて、お互いに支えあい
思いやりの心をもって差別や偏見をなくしましょう。



感謝

私たちの暮らしを支えるため、感染のリスクに直面した厳しい環境の中で懸命に
働く方々に、心から感謝しましょう。



判断

うわさやSNSなどの憶測に基づく情報に惑わされず、
正確な情報に基づき冷静に行動しましょう。



終わりに

恐ろしいのは人間ではなくウイルスです。
力を合わせてこの日本の危機を乗り越えましょう。

相談窓口
みやぎ新型コロナ人権相談ダイヤル
090-1552-1477 平日9:00～17:00

宮城県

◀ 2年生では p4c* の手法を用いて、差別・偏見をなくすために何ができるか真剣に考えてみました。

*子どもの哲学 philosophy for children の略称